

その他の医療保健業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|--|-------|-------|
| 1 | 7~8 | 技工室のドアを開けようとした時、ほうきが倒れていたため足が引っ掛かり、前方に倒れて左肩・両ひざを強打した。 | 60 | — |
| 1 | 20~21 | 仕事場で重い荷物を運んでいる時に、廊下で重い荷物（お湯の入った足湯用の桶）につまずいてしまい、尻から着地し、持っていた桶が右側の肋骨を強打した。 | 44 | — |
| 2 | 8~9 | 敷地内駐車場に車を止め、建物に向かい歩いているところ、雪の上で滑り転倒し背骨の骨が圧迫された。 | 63 | — |
| 2 | 14~15 | 歯科医院内階段にて、治療に必要な物品を3階から1階に持って階段で下りる際、2階付近で転倒し負傷した。 | 22~49 | 30 |
| 2 | 8~9 | 巡回健診先の2階休憩室にて、健診準備をしていたところ現場のフローリングの床半分に畳が敷いてあり、10cm程の段差で滑り、臀部から転倒してしまった。転倒の際、左腕をつき圧迫してしまった為、強い痛みがあり、病院を受診したところ骨折と診断され緊急手術のため、入院となった。 | 50~99 | 52 |
| 3 | 10~11 | 機材のある部屋に移動中、会社の外階段にてつまずき、顔面を強打し流血した。 | 61 | 1~9 |
| 3 | 12~13 | 食事介助中、利用者の隣の椅子に座り介助をしながら、自身も食事を取っていた。椅子から立ち上がって介助し、座ろうとした際、隣に来たヘルプの職員が椅子を移動させていたため後ろを確認せずに座ったところ、座り損ねて転倒した。転倒時、テーブルの角に後頭部、床に腰部・臀部を強打し受傷した。 | 48 | — |
| | | | | 10 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 3 | 9~10 | 当社の業務請負先である5F病室で工作中、廊下にある作業用のカートに行こうとして廊下に出た際、足が突っかかり前に倒れ込み、左手肘を骨折した。 | 51 | ~ 29 |
| 3 | 10~11 | 訪問ヘルパーとして、利用者宅から次の利用者宅へ自転車で移動中、植え込みの砂地にタイヤがはまってスリップし、右に倒れ、右ハンドルに右胸を強打した。 | 58 | 10 ~ 29 |
| 3 | 14~15 | 利用者の送迎時に転倒した。 | 52 | 10 ~ 29 |
| 3 | 18~19 | 院内にて、診察チェア周辺の診療器具を片付け持ち運んでいた際、つまずいてバランスを崩し、床に左手をつき親指の付け根を内出血した。 | 37 | 1~ 9 |
| 3 | 10~11 | 清掃作業中に移動したところ、テーブルの脚に足を引っ掛け後ろに転倒し、床に尻もちをついた。 | 60 | 1~ 9 |
| 4 | 14~ 15 | 検体回収先の病院駐車場で、車に戻る際に駐車場入口のチェーンをまたごうとしたところ、足が引っ掛かり転倒して骨折した。 | 49 | 50 ~ 99 |
| 4 | 9~ 10 | 健診会場において設営作業のため、倉庫からホール内に机を運び入れる際にホールの扉（手前引の開き戸）を開けたところ、扉の先の足元に置いてあった鞆に気付かず躓き、右足を激しく挫いて転倒した。 | 67 | 500 ~ 999 |
| 5 | 10~ 11 | クリニック受付カウンターにおいてお客様対応業務中、イスに座ろうとしたが、キャスター付のイスが後ろにずれていて、腰を下ろした位置に椅子が無く、転倒し、コンクリートの床に左手を強くつき、手首を骨折した。そのとき壁に頭が当たり、頭痛・吐き気・ふらつきがあり、一時的に自力での歩行が困難となった。 | 56 | 1~ 9 |
| 5 | 8~9 | 通勤中に医院の玄関先で滑り、転んでしまった。 | 50 | 1~ 9 |
| 6 | 15~ 16 | 執務中に事務室内を移動していたところ、机の脇に置いてあったダンボールに躓き、転倒した。転倒した際、手をつくことが出来ず、床に膝を強く打った。 | 56 | 10 ~ 29 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 6 | 15～ 16 | 個人宅への訪問看護に自転車で向かっている途中、急な下り坂でスピードが出てしまい転倒し、負傷した。 | 39 | 1～ 9 |
| 6 | 14～ 15 | 自転車で出勤し、診療所ビルの裏口にある駐輪場に自転車を止め、診療所に向かおうと、両手に荷物を持ち、道路に出ようとしたところ、段差に気付かずに転んで負傷した。 | 58 | 1～ 9 |
| 6 | 12～ 13 | 駐車場で薬局へ移動中、駐車場のタイヤ止めに足を引っ掛け転倒した。転倒時に左手をつき、左手中骨を骨折した。 | 53 | 10 ～ 29 |
| 6 | 5～6 | 施設内において、モップで拭き掃除をしており、床が濡れていた為、足を滑らせて転倒し、左腕を骨折した。 | 68 | 10 ～ 29 |
| 7 | 15～ 16 | 営繕の作業場にて、故障したプリンターを修理中、誤ってプリンターのコードに躓き、背中から転倒し、腰を強打し負傷した。（第1腰椎圧迫骨折） | 41 | 100 ～ 299 |
| 7 | 9～ 10 | 当院駐車場で散水の準備中、ホースに足が引っ掛かり受傷した。 | 49 | 1～ 9 |
| 9 | 9～ 10 | 当院同スタッフと共に2人で出席する際に向かっている、駅を出て会場近くの階段でつまずき転倒してしまい、コンクリート上の床面に左足の膝を打ち付けてしまい負傷した。 | 35 | 1～ 9 |
| 9 | 13～ 14 | 当施設の駐車場に向かおうとした際、当施設の入っているマンションの1階通路が雨で床が濡れており、誤って滑り、頸部を挫傷したもの。 | 47 | 100 ～ 299 |
| 9 | 12～ 13 | 当協会健診センターでの午前の健診が終了し、消毒済みの受診者用スリッパを両手に一足ずつ持ってスリッパロッカーに収納しようとして目線はロッカー上段をめがけて歩いていたところ、足元に敷いてあるスイタ（120cm×45cm×5cm）に左足がつまずき転倒し、脇腹・骨盤、特に左肘を強打した。 | 62 | 100 ～ 299 |
| | 15～ | 訪問サービスでベッドメイキング時、慌ててしまい、転倒。右足薬指と小指にヒ | | 10 |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------------|
| 10 | 16 | ビが入った。 | 61 | ～ 29 |
| 10 | 10～ 11 | 高校にて健診従事中、立ち上がろうとした際、意識消失し頭からうつぶせの状態 転倒した。（入院中） | 49 | 100 ～ 299 |
| 10 | 15～ 16 | 急きょ退所が決まった利用者が荷物を忘れて帰宅されたため、御家族様に連絡した ところ、すぐに取りに来られた。急いで相談員室に荷物をとりに向かったが、あ せて左足の踵に右足のつま先がひっかかり体勢を崩した。転倒を防ごうと咄嗟 に右手を床についたが支えきれず転倒した。右手首外側に激しい痛みがあったた め氷で冷やした。 | 56 | 50 ～ 99 |
| 11 | 7～8 | 駅の自転車置場から駅改札口へ向かう歩道がきちんと舗装されておらず、でこぼこ になっていたため足がとられて右足が外側にガクッとひねり、剥離骨折した。通 勤途中ではない。 | 55 | 1～ 9 |
| 12 | 10～11 | 午前の当番業務を終えて帰宅するため職場敷地内の駐車場に向かっていたところ、 駐車場のコンクリートが凍っていたため足を滑らせた。その際、仰向けに転倒 し、自力では動けなくなった為、娘に連絡をして病院へ連れていってもらい診察を 受けたところ、右大腿骨頸部骨折と診断された。 | 58 | 1～ 9 |
| 12 | 15～16 | 入浴の介助中、利用者の脱いだ靴を脱衣室の外に出そうとした際、入口付近が水で 濡れており、足を滑らせ転倒した。その際、左手に靴を持っていたため、右手の みを床についた状態であった。右手首周囲に骨の変形を認め、骨折の疑いがあっ た。 | 49 | 30 ～ 49 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html